STYLE-ARENA.JP

2015 年夏のストリートスタイル総括レポート

一般財団法人 日本ファッション協会

ストリートから東京の今を伝える情報サイト

STYLE-ARENA.JP

2015年夏のストリートスタイル総括レポート

2015 年夏のストリートでは、秋冬から引きつづきシンプル＆クリーンなスタイルが人気で、色もモノトーンが多い。特にホワイト人気からアイスブルーや白に近いペールカラーなど、白に合う色が多く出て、そのほとんどが無地だった。しかし、シンプルな中にも素材で差を出したり、微妙な色の差で楽しんでいる。表参道ではオールホワイトに加え、オールブラックも目立った。

レディスのアイテムではガウチョパンツ人気が継続。夏らしいコットンだけでなく、デニムやジャージ、チュール、シフォンなど、素材の幅がかなり広がった。また、丈も少し長くなりつつある傾向。

メンズはクロップドパンツから少し丈が長くなったアンクル丈に人気が移行。トラウザーと呼ばれるハイクラスパンツの影響もあるようだ。ワイド系のスラックスでもアンクル丈にしている人が多かった。

足もとは、スニーカーやサンダル×ソックスの組み合わせが継続人気。サンダルに組み合わせるソックスは白一辺倒からしだいに色・柄があるものに。サンダルはアウトドアブランドのものが大人気となった。

CONTENTS

地域別ファッションの特徴 3

肌見せスタイル *Skimpy Look* 4

ガウチョパンツ *Gaucho Pants* 6

アンクル丈 *Ankle Length* 8

アイスブルー *Ice Blue* 10

ホワイトアイテム *White Item* 12

サンダル *Sandals* 14

TOKYO STREET STYLE 2015 SUMMER

地域別ファッションの特徴

東京のストリートファッションを観察し発信している web サイト「style arena.jp」。原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座という、テイストが異なった 5 つのエリアのストリートスタイルを掲載し、リアルなファッションの動きや流れを伝えている。

現在は以前とは違い、地域別ファッションの特異性というものは薄まりつつある。それでもまだ地域毎に根付いているファッションスタイルがあり、“ 違い ” を感じる事ができるのも事実。このレポートではその違いについてもお伝えできればと思っている。

原　宿

セオリーを無視したバランス感覚。

バランスや感覚に優れた若者が多く、モード、カジュアル、トラッドなどのスタイルを融合した、いい意味でセオリーを無視したスタイルを生み出している。
また、原宿は東京で一番古着屋が集まっている街。ほとんどの人が古着を取り入れ、個性的なファッションが見られる。

渋　谷

この街を見れば、日本の女性の “ 今 ” が分かる。

流行の移り変わりが最も激しい街。流行のブランドに集中した結果、似たようなファッションスタイルをよく見る事が多い。“ 流行はあるが個性がない ” のが渋谷。
しかし常に新しい物を求め、敏感に探し、纏っているのが渋谷だ。この街を見れば、日本の女性の “ 今 ” が見えてくる。

表参道

スマートでモードな洗練スタイル。

ハイブランドの路面店が並ぶ表参道では、集う人々のスタイルは特に洗練されている。基本はモノトーンを基調にしたスマートでモードなファッションで、小物使いがうまいのも特徴。無駄な物は付けず、コーディネートの足し引きの感覚が優れている。高級な物もそうでない物も、等身大で飾らずにスタイリングできるセンスを持ったエリアだ。

代官山

流行に流されない個性派が集う街。

雑貨屋や古着屋で買ったノーブランド服や小物を身につけている人が多い。また、人と同じファッションを嫌う人も多く、流行に流されにくい。特定のショップやブランドにも強い拘りを持たず様々なショップをまわって同じブランドが重ならない。原宿とは違う個性がある魅力ある街だ。

銀　座

ラフさと高級さが同居した上品スタイル

全体的には年齢層が若干高めで、上品で落ち着いた雰囲気を持った人が多い。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につけている人も多いが、それでも全身を高級品で固めている人は少ない。ファストファッションのブランドを MIX して決して嫌らしくならず、ラフさと高級さを同居したスタイルに仕上げている。

2015 SUMMER Trend

肌見せスタイル *Skimpily Look*

見せたもの勝ち!
アクティブな肌見せスタイルが人気

女性の大敵、日焼け。例年、東京ストリートの美意識の高い女性たちには真夏でも長袖を着る人をよく見かけた。ただ、今年はその風潮に変化があったため、ストリートの“露出度”に注目してみた。

今季、キーワードになったのが“健康的な露出”。スポーツやストリートカルチャーのテイストをプラスし、アクティブに肌を見せていくスタイルが流行った。その代表アイテムが『ブラトップ』。タンクトップによりタイトなシルエットで、お腹が見えるほど丈が短いのが特徴だ。ナイキやアディダス製のスポーツブラタイプを着ている人も見かけた。

もう一つ人気なのが『メッシュ・シースルーアイテム』。もともとはスケータースタイルなどがルーツだが、今季はレディースファッションで流行に。タイトなミニスカートの上にロングのシースルースカートを重ねるなど、透明感のあるスタイリングをよく見かけた。

POINT

適度な肌の露出は、スポーツスタイルを加速させ、元気でアクティブな印象に。コンフォート（楽さ）を求める最近の風潮も影響しているのだろう。

2015 SUMMER Trend

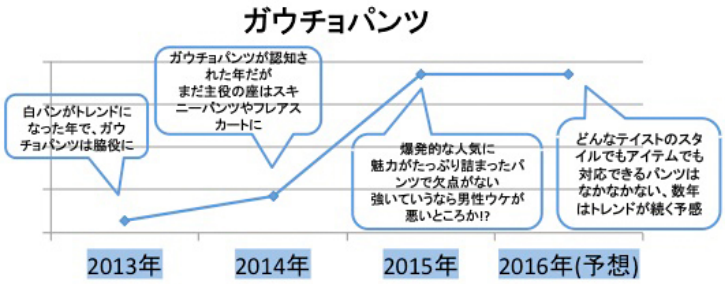
ガウチョパンツ *Gaucho Pants*

進化し続けるレディースボトムの最新型は…？

昨年の秋冬にレディースで大流行した〝ミモレ丈スカート〟。絶妙な丈感とシルエットが人気を博したが、この春夏はそのパンツバージョンとも言えるガウチョパンツが主役だ。数年前からじわじわ着ていたアイテムが、2015 夏は爆発的な人気。

ストリートを見てみると、実に幅広いテイストのコーディネートでガウチョパンツが取り入れられていることが分かる。リラックス感のあるシルエットが特徴のこのパンツだが、素材や柄を変えるだけでどんなテイストにでも対応できる優秀さが人気の秘密。

スカートのガーリーさとパンツのボーイッシュ感が同居し、どこかチグハグな感じが愛おしいこのアイテム。アクティブに動きまわりたい春夏にはピッタリで、履くだけで今っぽい 2015 年最旬アイテムとなった。



POINT

流行りの足元オシャレがより良く見える丈感も人気のポイント。スニーカーやサンダルにソックスを合わせたスタイルにガウチョパンツのバランスは最高。

2015 SUMMER Trend

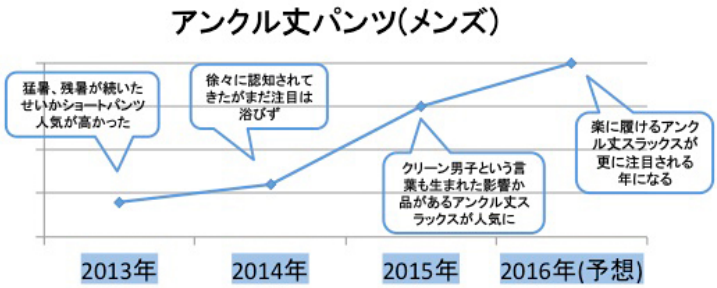
アンクル丈 *Ankle Length*

アンクル丈でらくちんキレイ目コーデ

これまでのメンズボトムスの主役たちと言えば、デニムパンツ、スウェットパンツ、そして夏はショートパンツがメインだったが、2015 夏は少しショートパンツの勢いが衰えた印象。代わりに人気なのが、「スラックス・トラウザー系パンツ」。それも、重要なのは丈感。フルレングスではなく、「アンクル丈」の物を履く人が多い。アンクル丈とは、クロップドやサブリナパンツよりは長いが、くるぶしが少し見えるくらいのバランスでカットされた丈感のもの。スラックスやトラウザーはこれまで、カッチリとしたキレイ目コーデの印象だったが、丈を短くすることですっきりとしてカジュアルな印象になる。

最近は“クリーン男子”なる言葉も生まれるなど、清潔感や上品さなどもメンズファッショントレンドでは重要な要素。スウェットやデニムの“ラフさ”、“カジュアルさ”を持ちながら、センタープレスの上品さも持ち合わせるアンクル丈スラックスはまさに“旬”のアイテム。

また、丈のおかげでボリュームのあるシューズとの合わせも野暮ったく見えず、軽快な印象に。レザーシューズやスニーカーなど、どんな靴にも合わせられる。トップスがシンプルになる夏、ボトムの丈感を極められれば、一歩上の洗練されたコーディネートが手に入る。



POINT

今年は素材的にも軽さや伸び感のあるものが増え、細身のものでもスキニーより楽に履けるところも人気のポイント。

2015 SUMMER Trend

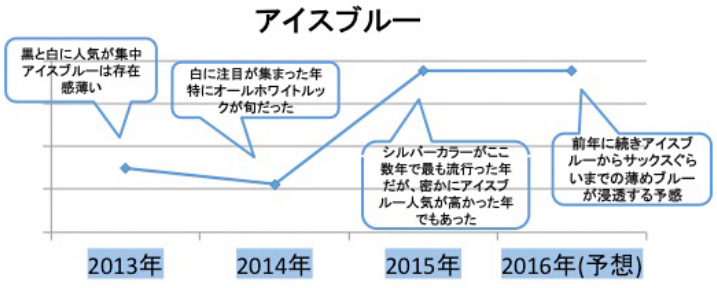
アイスブルー *Ice Blue*

見るだけで涼しい!密かに注目された“アイスブルー”

ホワイト、ネイビー、ブラック。ストリートでは、ベーシックカラーでまとめたコーデがあふれている。鮮やかなカラーは、レディースの一部でスポーティな原色やガーリーなパステルカラーがみられる程度。そんななか、男女問わず 2015 夏に流行ったカラーが“アイスブルー”だ。

アイスブルーとは、冷たい印象を与える明るいブルーのこと。ダルブルーでもスカイブルーでもない、圧倒的な透明感が特徴だ。無地 T やワンピースなど、メインアイテムに取り入れれば、リゾート感が満載のスタイルに。ピアスなどの小物で取り入れてもさりげないアクセントになる。

アイスブルーのアイテムを取り入れるだけで目にも涼しげなスタイルに。他のパステル系カラーと違って、レディースはもちろん、メンズスタイルにもハマりやすい。フェスにレジャーに忙しい季節、纏う色もアクティブに。



ALSOK

2015 SUMMER Trend

ホワイトアイテム *White Item*

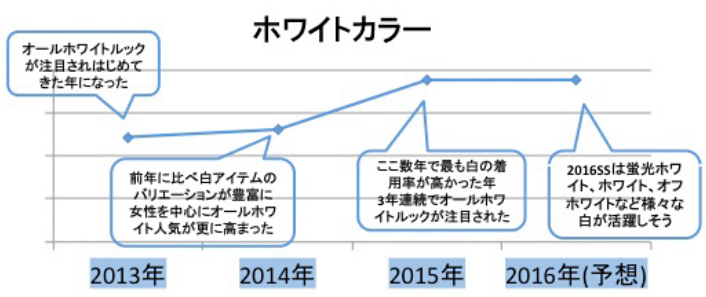
“ 王者 ” ホワイトに脚光

2015 夏の筆頭トレンドカラーだったのは “ ホワイト ”。特に、全身白系アイテムでまとめた “ オールホワイトコーデ ” が人気だった。雑誌などでもプッシュされ、目にした機会が増えたな、と感じた人も多いはず。

ストリートでの “ ホワイトコーデ ” をよく観察してみると、アイテムによって素材や微妙な色味を変え、単調になりすぎないようにしている人が目立つ。例えば、シャツならパリッとした爽やかな白、ニットなら少し温かみのあるオフホワイトといった具合。薄いグレーやスカイブルーなど、同色系統のアイテムを入れ、グラデーション感を出している人も。どうやら、透明感や爽やかさといったものが求められているようだ。

今年は多くのホワイトアイテムが発売されていて、デニム、スウェット、ナイロン系アウターなど、これまでならなかなか白の物に巡り合えなかったアイテムも多い。また、「ソックス」や「adidas スニーカー」など、今季のストリートのキーアイテムの共通点が “ ホワイト ”。思えば、デニムのブルーや、爽やかなパステルなど、他のトレンドカラーも人気の理由は「ホワイトに映える」という事なのだろう。

UP TO
YOU.


ホワイトカラー
オールホワイトルックが注目されはじめてきた年になった
前年に比べ白アイテムのバリエーションが豊富に女性を中心にオールホワイト人気が更に高まった
ここ数年で最も白の着用率が高かった年3年連続でオールホワイトルックが注目された
2016SSは蛍光ホワイト、ホワイト、オフホワイトなど様々な白が活躍しそう
2013年
2014年
2015年
2016年(予想)

2015 SUMMER Trend

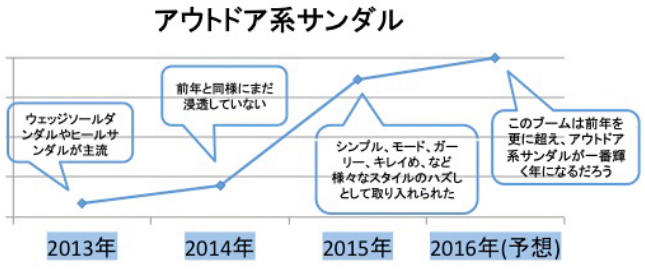
サンダル *sandals*

絶対に押さえておくべき、“2015 夏サンダル”

夏にマストな定番フットウエアでありながら、今年はトレンドアイテムとしても注目を浴びたサンダル。もはやコーデのはずしというよりも、主役に躍り出たと言っていいだろう。今までサンダル派ではなかったけど、今年は買った、という人も多いのでは。そこで気になるのが「どんなサンダルが今年っぽかったのか!?」2015 夏トレンドサンダル 2 タイプを紹介。

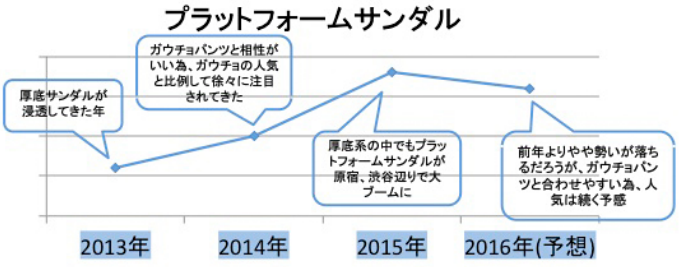
1 ストラップサンダル

大流行した「Teva」や「Chaco」のアイテムがこれ。アウトドアサンダルの代表的な形で、足の甲、かかと、足首をストラップで固定することで脱げにくく機能的な作りになっている。現在では、そのデザインがファッションとして評価され、ソックスと合わせるなどタウンユースで大活躍。上記のブランド以外では、「mont-bell」、「SUICOKE」などが人気だった。



2 プラットフォームサンダル

ソールが厚底で、かかとからつま先まで均一になっているもののこと。「BIRKENSTOCK」などが有名。クッション性が高く、履き心地は抜群。特にダブルベルトが大人気で、太めのネックベルトは足を華奢に見せてくれる嬉しい効果もある。トレンドのガウチョパンツと合わせやすく、あえてキレイめな格好に合わせている人が目立った。



●「style-arena」アンケート結果から

「style-arena」夏シーズン（6 月〜 8 月）における掲載モデル一人一人にお答えいただいたアンケート結果の一部をご紹介します。

Q. 毎月どれくらいファッションにお金を使いますか？（渋谷・銀座の男性は数が少なく省略）

●原宿／女性　：　28,700 円（54 名平均／最高金額 100,000 円　以下同）
原宿／男性　：　31,000 円（10 名／ 55,000 円）
●渋谷／女性　：　32,400 円（65 名／ 150,000 円）
●表参道／女性　：　38,400 円（46 名／ 200,000 円）
表参道／男性　：　43,500 円（13 名／ 200,000 円）
●代官山／女性　：　33,000 円（30 名／ 105,000 円）
代官山／男性　：　32,400 円（7 名／ 75,000 円）
●銀座／女性　：　36,000 円（28 名／ 100,000 円）

Q. 好きなブランドは？／回答数が多い順の TOP3（末尾は全回答数）

●原宿／女性　：①「I am I」②「bulle de savon」③「COMME des GARÇONS」（87）
原宿／男性　：①「ART COMES FIRST」以下複数回答なし（15）
●渋谷／女性　：①「ZARA」②「EMODA」③・「moussy」（117）
●表参道／女性　：①「moussy」・「TOGA」・「ZARA」（以下分散／ 73）
表参道／男性　：①「DIOR HOMME」・「Maison Martin Margiela」（以下分散／ 25）
●代官山／女性　：①「ZARA」②「ACNE STUDIOS」・「BEAMS」・「mame」・「MARNI」・「URBAN RESEARCH」（54）
代官山／男性　：①「ISSEY MIYAKE」（以下分散／ 9）
●銀座／女性　：①「snidel」②「DebutdeFiore」・「ZARA」（以下分散／ 68）

Q. よく行くショップは？／回答数が多い順の TOP3

●原宿／女性　：①「Santa Monica」②「I am I」③「bulle de savon」・「flower」・「HUG」（89）
原宿／男性　：複数回答なし（14）
●渋谷／女性　：①「ZARA」②「H&M」③「FOREVER 21」（126）
●表参道／女性　：①「ZARA」②「moussy」・「OPENING CEREMONY」（67）
表参道／男性　：①「Maison Martin Margiela」（以下分散／ 22）
●代官山／女性　：①「OPENING CEREMONY」・「ZARA」（以下分散／ 40）
代官山／男性　：複数回答なし（10）
●銀座／女性　：①「snidel」②「ZARA」③「LAISSE PASSE」「TOMORROWLAND」（66）

TOKYO STREET STYLE　2015 summer

●東京のストリートファッションを紹介する、一般財団法人日本ファッション協会のファッションサイト「style-arena.jp」（http://www.style-arena.jp/）は、若者のファッションを牽引する「渋谷」「原宿」「表参道」「代官山」の 4 地点に、「銀座」を加えて、" 東京のストリートファッション " を 10 年にわたって世界に紹介を続けてきました。
現在、「style-arena.jp」は毎月 400 万ページビューのアクセスがあり、その半分強は海外からの訪問者となっています。

本編は、この「style-arena.jp」から、2015 年冬夏（6 月～ 8 月）に掲載されているスタイルを分析し、トレンドをまとめたレポートです。
個別の詳細は「style-arena.jp」（http://www.style-arena.jp/）にて閲覧ください。

JFA「style-arena」Report 2015 summer

2016 年 1 月発行

■ 解説　企画事業部　情報発信事業
　　ディレクター　嶋田　有樹

■ 発行　一般財団法人 日本ファッション協会
　　〒 101-0051　東京都千代田区神田神保町 1-5-1　神保町須賀ビル 7F
　　TEL. 03-3295-1311　FAX. 03-3295-3295　E-mail info@japanfashion or.jp